

- ・子ども療育センター笠岡学園
 - ・発達支援センターかさおか
 - ・発達支援センターあさくち
 - ・発達支援センターやかげ
 - ・発達支援センターさとしょう
- の発達支援について

「支援」をおこなう環境を大まかに分けると「発達支援（本人支援・移行支援）」「家族支援」「地域支援」からなっています。

その中の「本人支援」は、(ア) 心身の健康や生活に関する領域「健康・生活」、(イ) 運動や感覚に関する領域「運動・感覚」、(ウ) 認知と行動に関する領域「認知・行動」、(エ) 言語・コミュニケーションの獲得に関する領域「言語・コミュニケーション」、(オ) 人との関わりに関する領域「人間関係・社会性」の5領域にまとめられますが、これらの領域の支援内容はお互いに関連して重なりあっています。

発達支援（本人支援・移行支援）



地域支援

家族支援

★厚生労働省 [児童発達支援ガイドライン] より

(ア) 健康・生活

- (a) 健康状態の把握
- (b) 健康の増進
- (c) リハビリテーションの実施
- (d) 基本的な生活スキルの獲得
- (e) 構造化等により生活環境を整える

(イ) 運動・感覚

- (a) 姿勢と運動・動作の基本的技能の向上
- (b) 姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用
- (c) 身体の移動能力の向上
- (d) 保有する感覚の活用
- (e) 感覚の補助及び代行手段の活用
- (f) 感覚の特性（感覚の過敏や鈍麻）への対応

(ウ) 認知・行動

- (a) 視覚、聴覚、触覚等の感覚や認知の活用
- (b) 知覚から行動への認知過程の発達
- (c) 認知や行動の手掛かりとなる概念の形成
- (d) 数量、大小、色等の習得
- (e) 認知の偏りへの対応
- (f) 行動障害への予防及び対応

(エ) 言語・コミュニケーション

- (a) 言語の形成と活用
- (b) 受容言語と表出言語の支援
- (c) 人との相互作用によるコミュニケーション能力の獲得
- (d) 指差し、身振り、サイン等の活用
- (e) 読み書き能力の向上のための支援
- (f) コミュニケーション機器の活用
- (g) 手話、点字、音声、文字等のコミュニケーション手段の活用

(オ) 人間関係・社会性

- (a) アタッチメント（愛着行動）の形成
- (b) 模倣行動の支援
- (c) 感覚運動遊びから象徴遊びへの支援
- (d) 一人遊びから協同遊びへの支援
- (e) 自己の理解とコントロールのための支援
- (f) 集団への参加への支援

具体的な活動と
てらしあわせ
おたよりを、今後
お届けいたします！